写　真　図　版

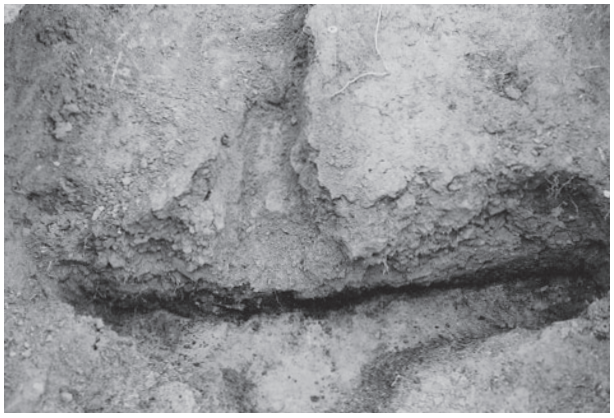
写真図版１　伊坂窯跡①

調査区遠景（南東から）

１－Ⅱ次窯体

写真図版２　伊坂窯跡②

１－Ⅱ次窯体炭化物層除去状況



最終窯体燃焼部付近横断断ち割り（１次窯体炭化物層部分）

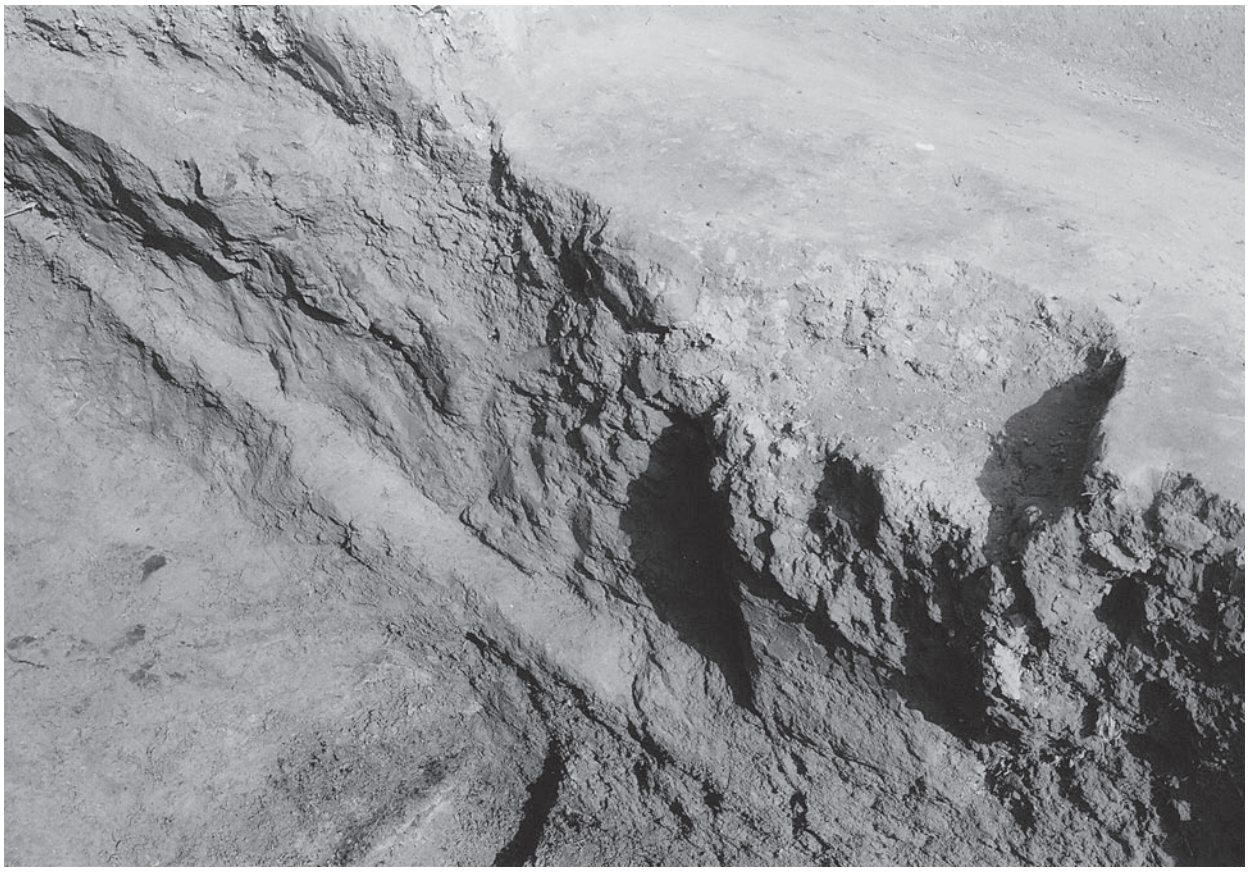
１次窯体床面上遺物出土状況

最終窯体

最終窯体煙道部

排煙口付近土坑縦断土層

最終窯体燃焼部付近縦断土層



東側壁改修痕跡段

写真図版４　伊坂窯跡④

焚口東袖付加状況

焚口西袖付近横断土層

焚口ピット検出状況

前庭部東側横断土層

袖部瓦貼り付け状況

ＳＫ410土層

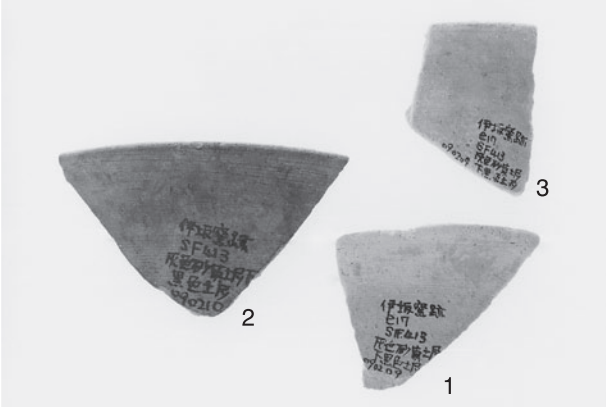
ＳＫ410遺物出土状況

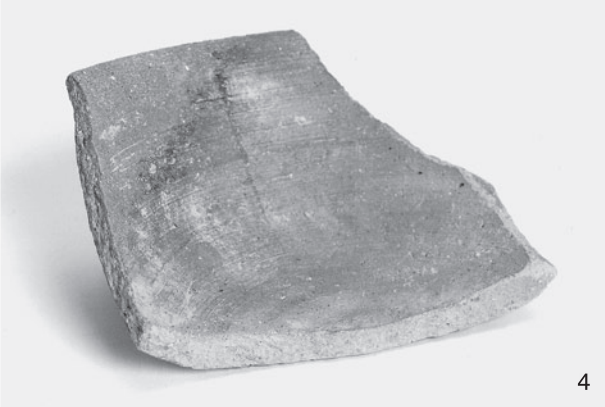
ＳＤ412

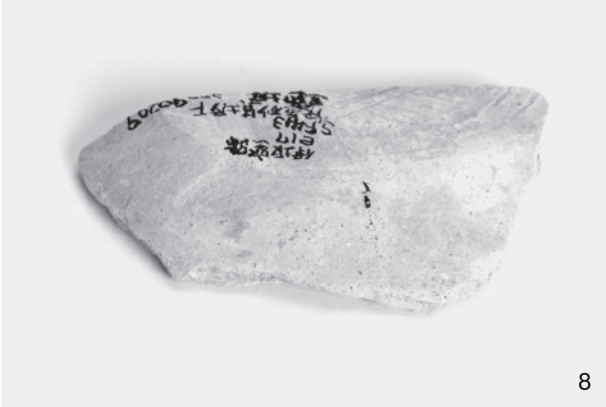
見学会

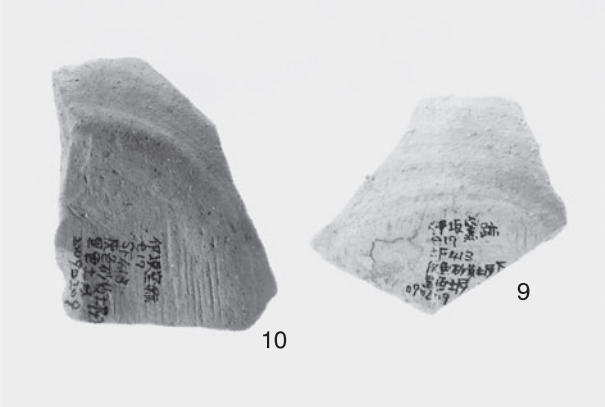
作業場関連遺構

写真図版６　伊坂窯跡出土遺物①

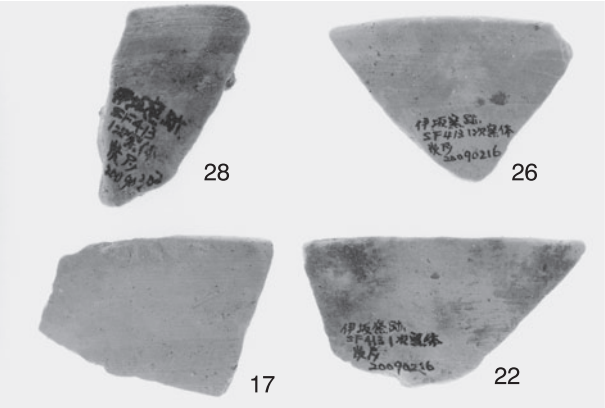








21

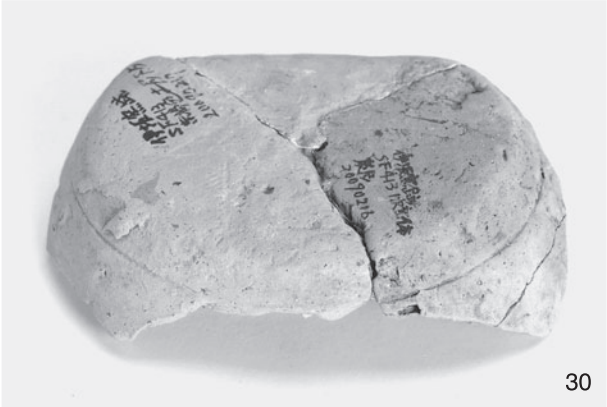

28 26 17 22

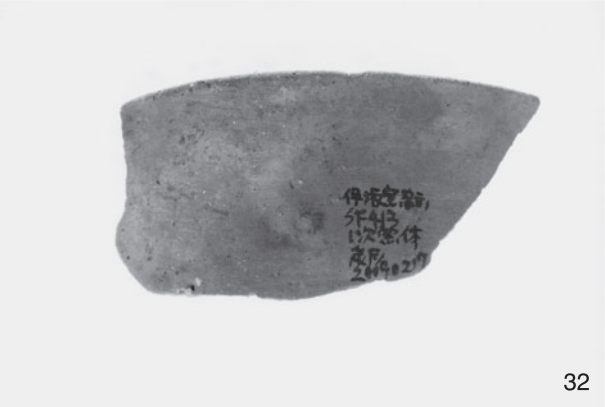
24

25

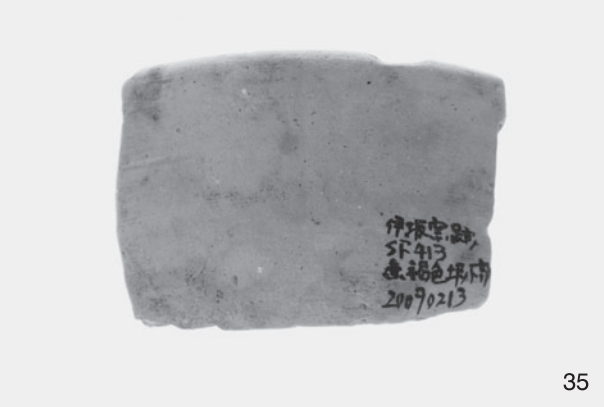
27

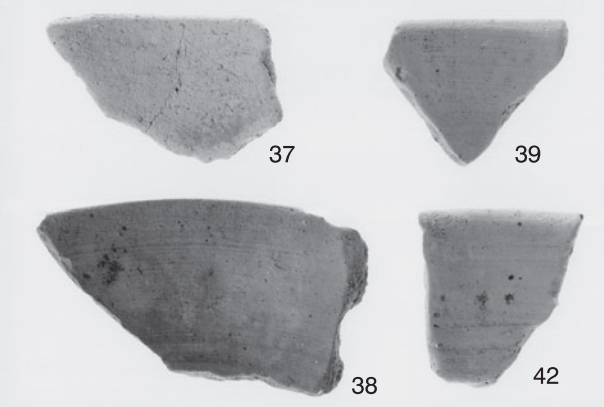
29

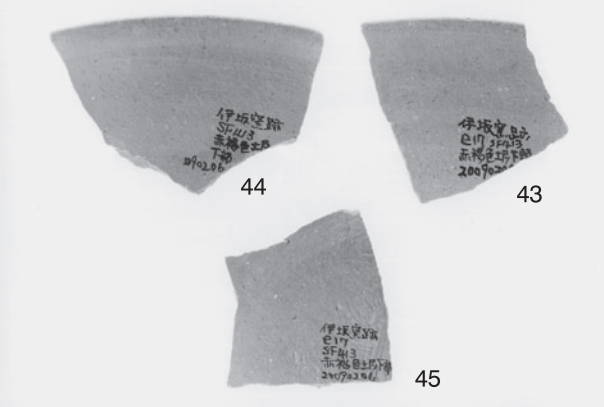

30


32

写真図版８　伊坂窯跡出土遺物③

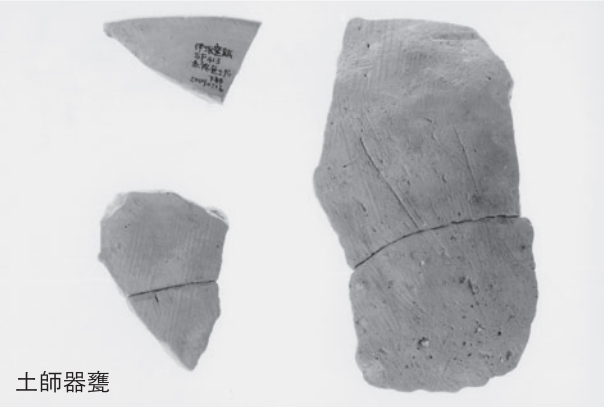

35


37 39 38 42

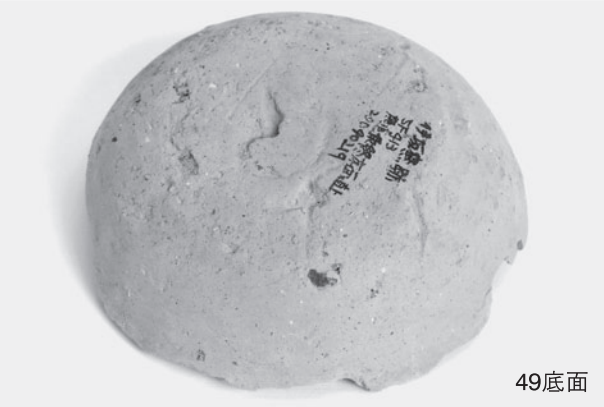

44 43 45

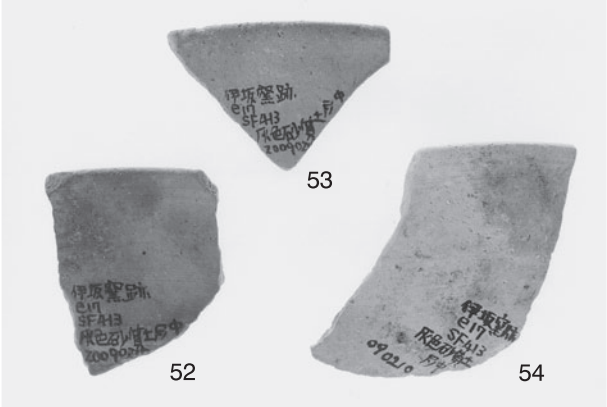
46

47

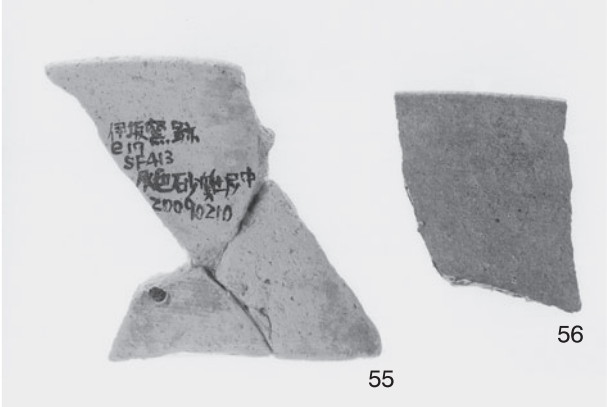

土師器甕

49

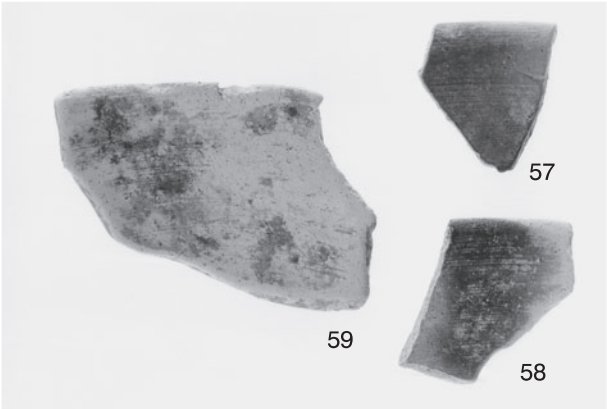

49底面

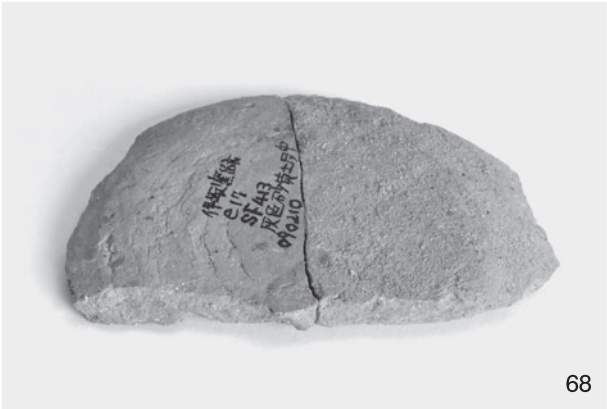


53　52　54

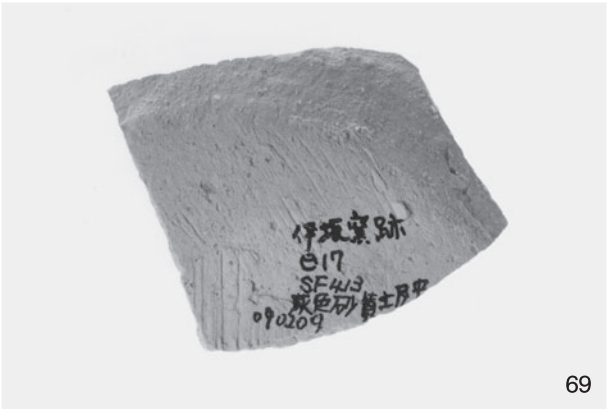


56　55


57　59　58

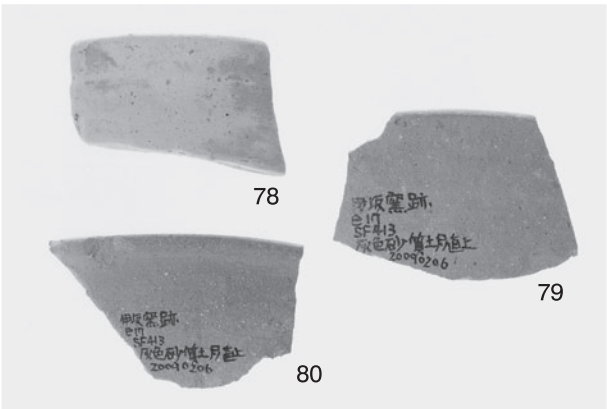


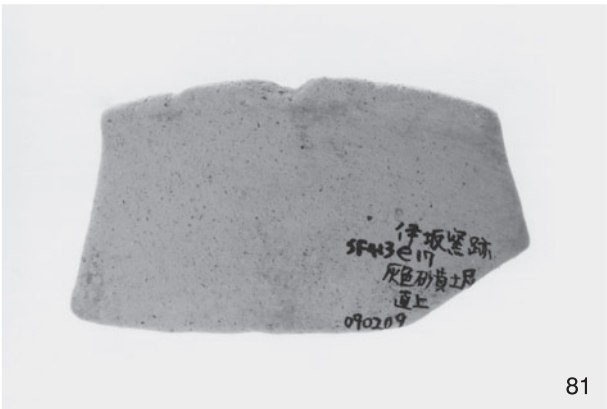
68



69

70


78　79　80



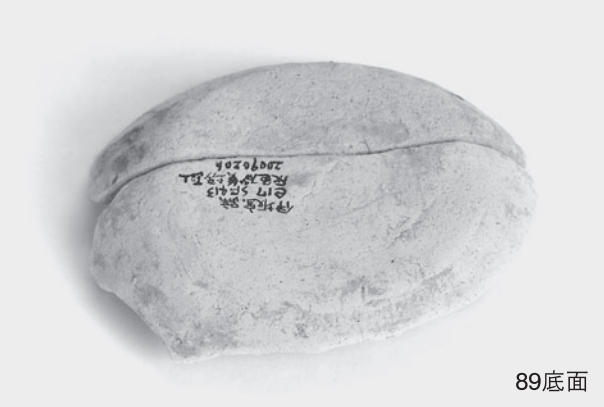
81

写真図版10　伊坂窯跡出土遺物⑤

84

87

89内面

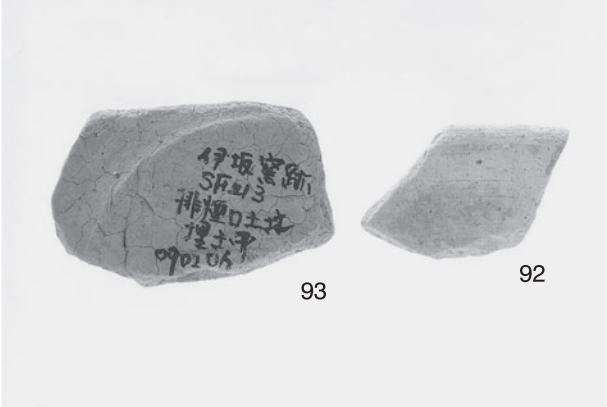

89底面

90

91

94

94底面


93

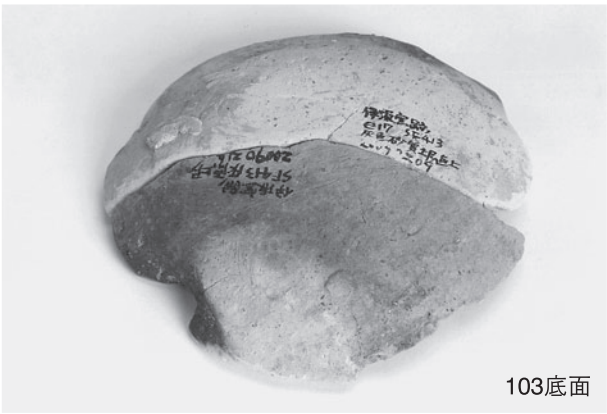
92

95

98

104

103内面


103底面

105

107

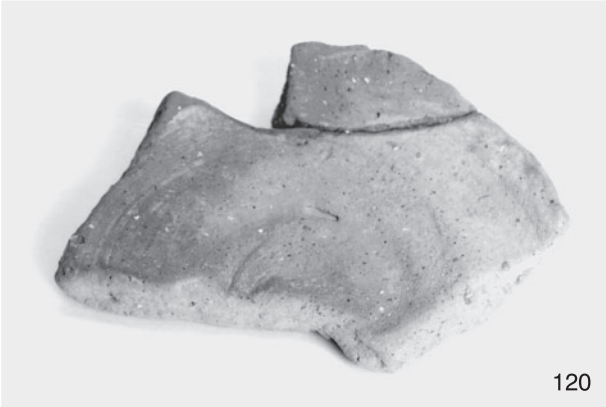
写真図版12　伊坂窯跡出土遺物⑦

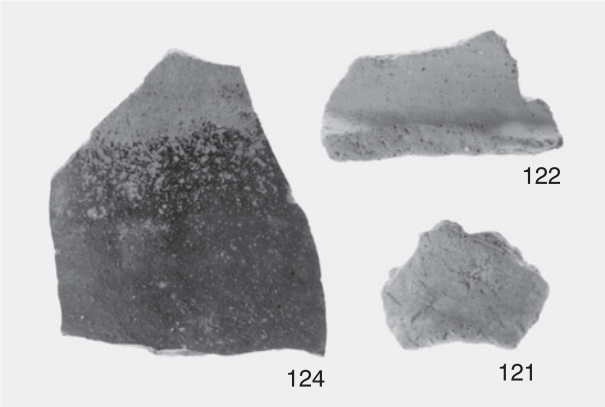
108

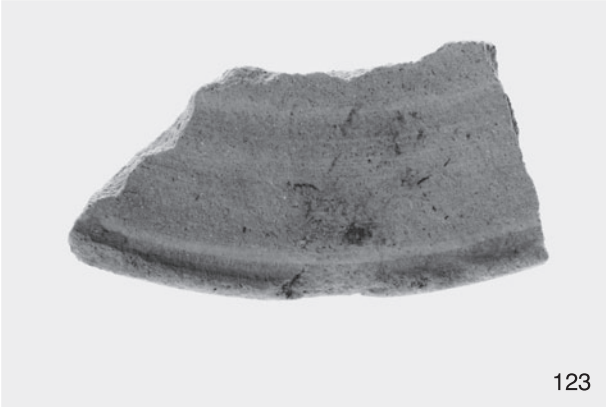
108内面

116

117


120


122
124
121


123

125

144

144

149

149

150

150

写真図版14　伊坂窯跡出土遺物⑨

151

151

154

159

170

170

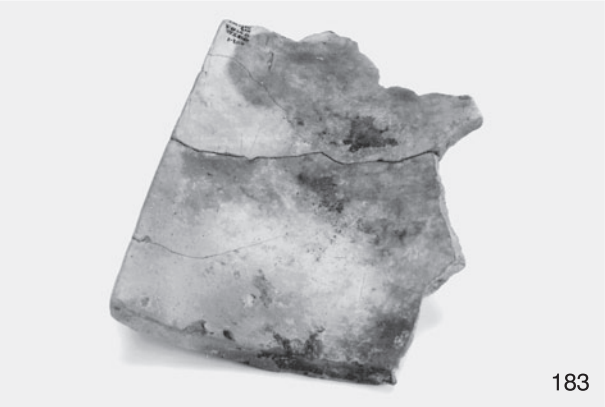
172

172

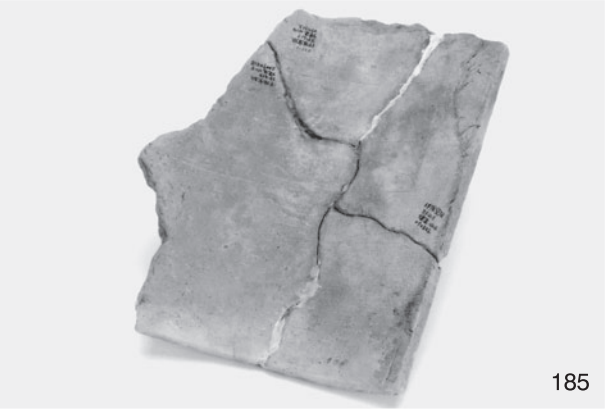
180

180

183


183

185


185

写真図版16　伊坂窯跡出土遺物⑪

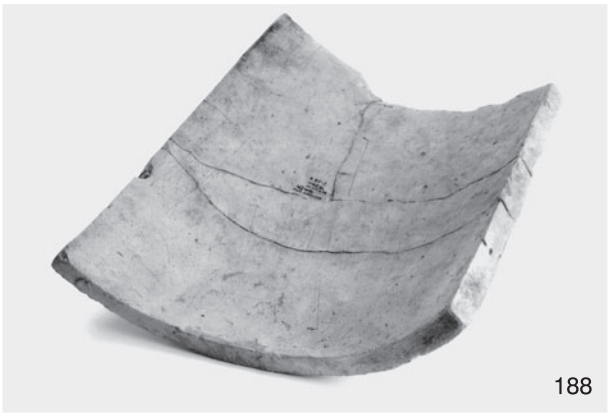
186

186

187

284

188


188

189

189

190

190

191

191

192

192

写真図版18　伊坂窯跡出土遺物⑬

221

221

222

222

235

307

307

309

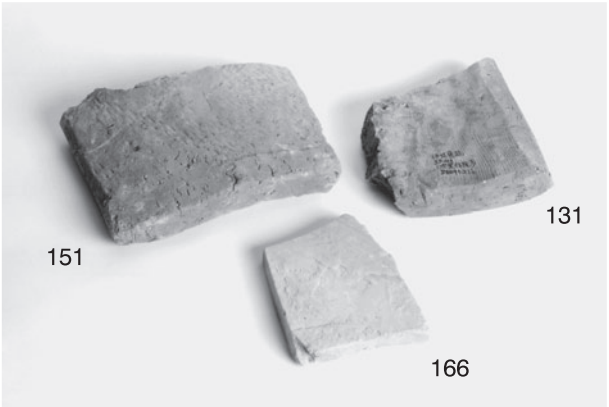
309

324

324

329

367


151
131
166

写真図版20　伊坂窯跡出土遺物⑮

416

416

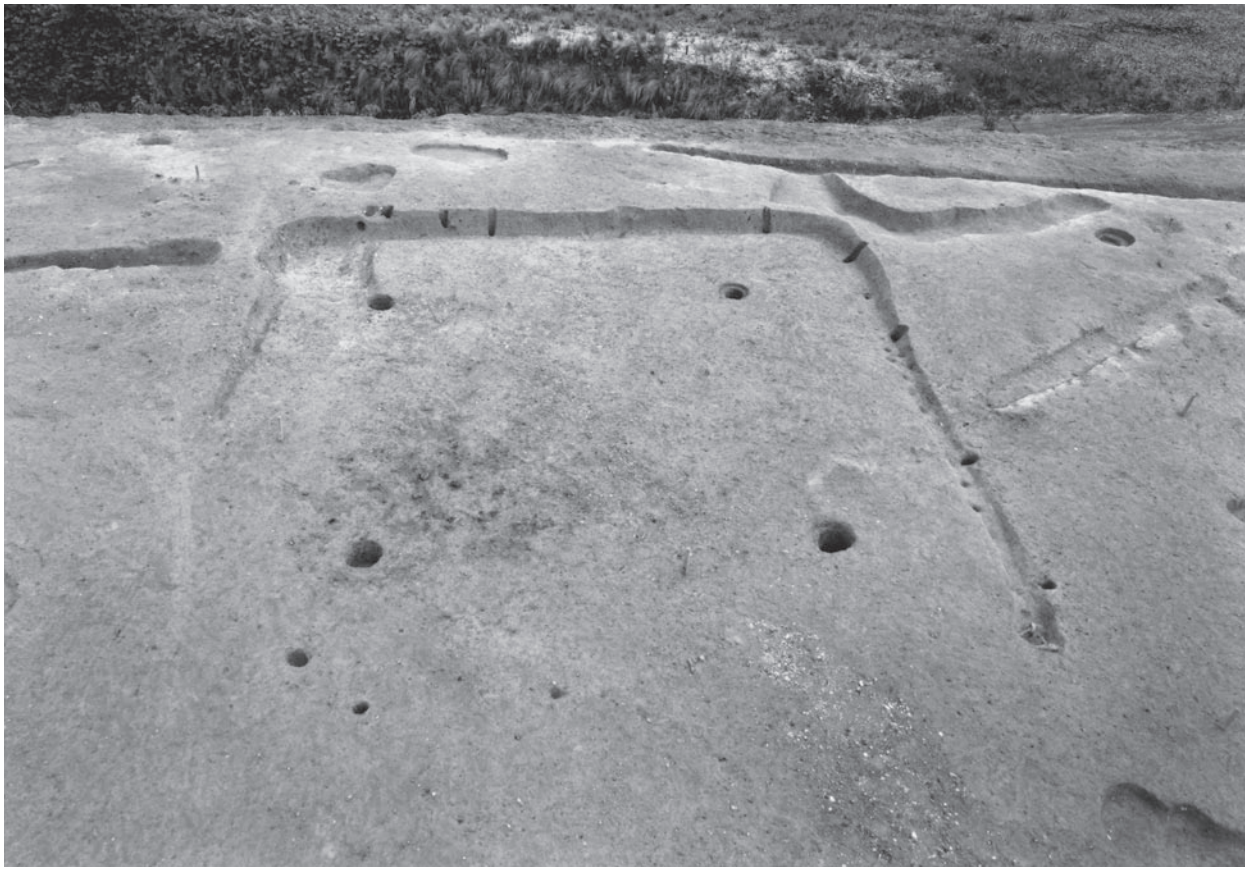
431

431

463

463

ＳＨ507（西から）

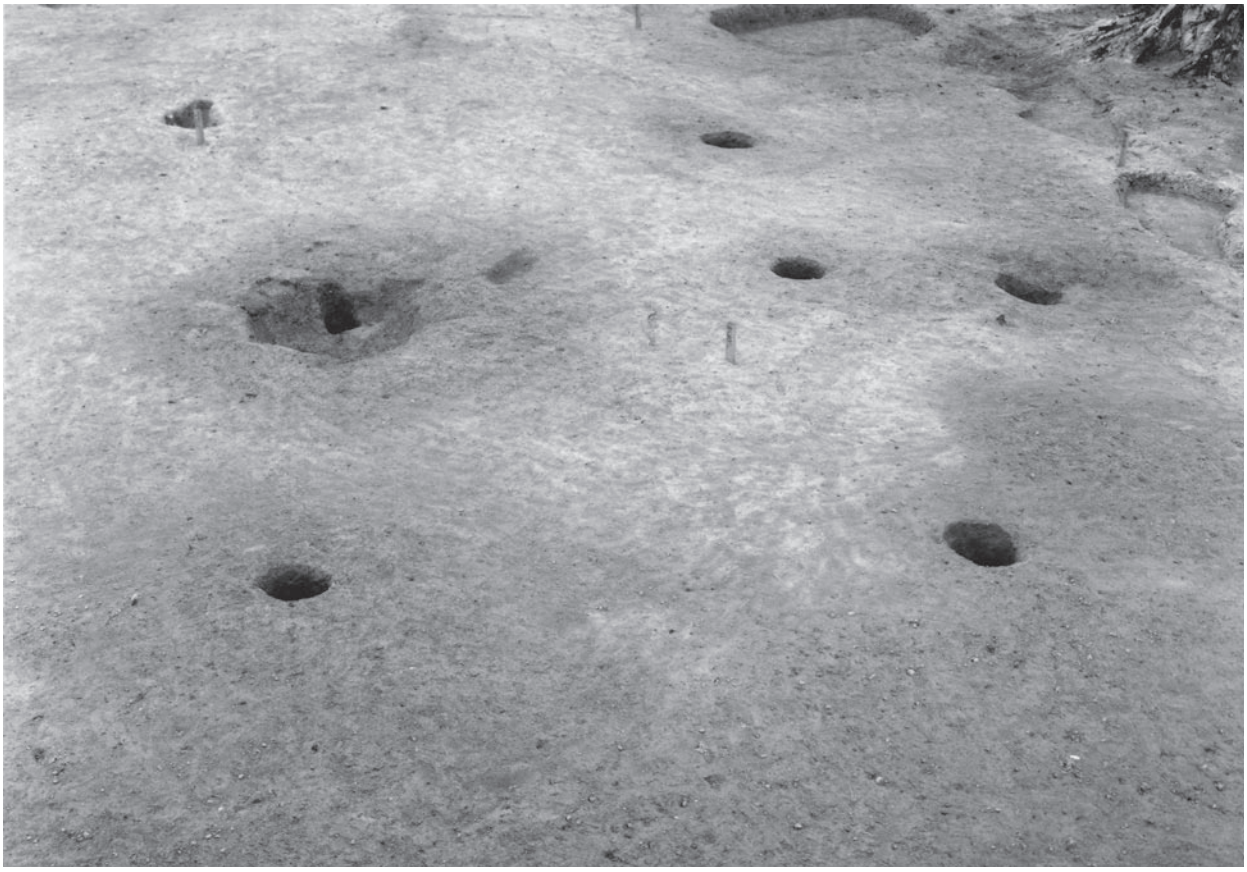


ＳＨ507（北から）

写真図版22　伊坂遺跡②

ＳＨ509（東から）

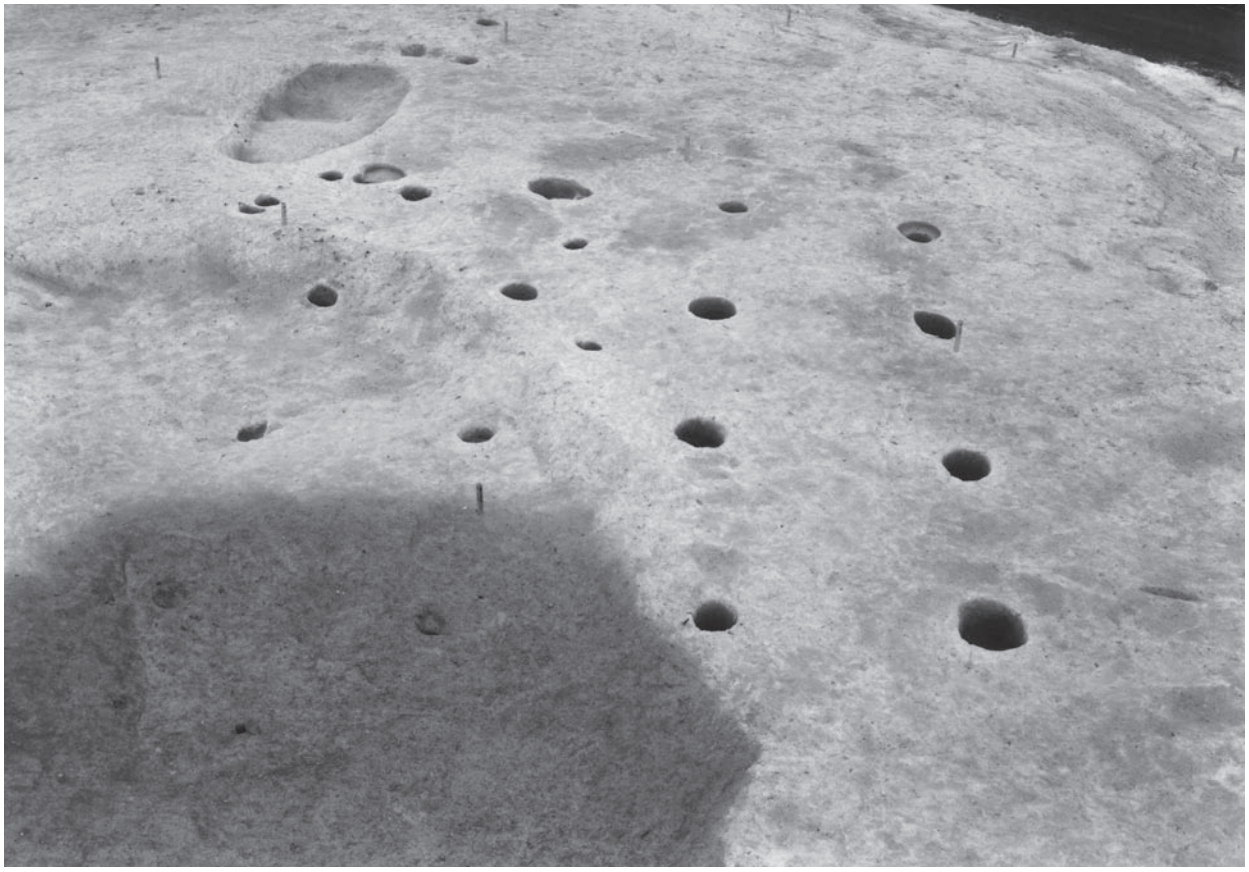
ＳＨ509（南から）



ＳＨ512（南から）

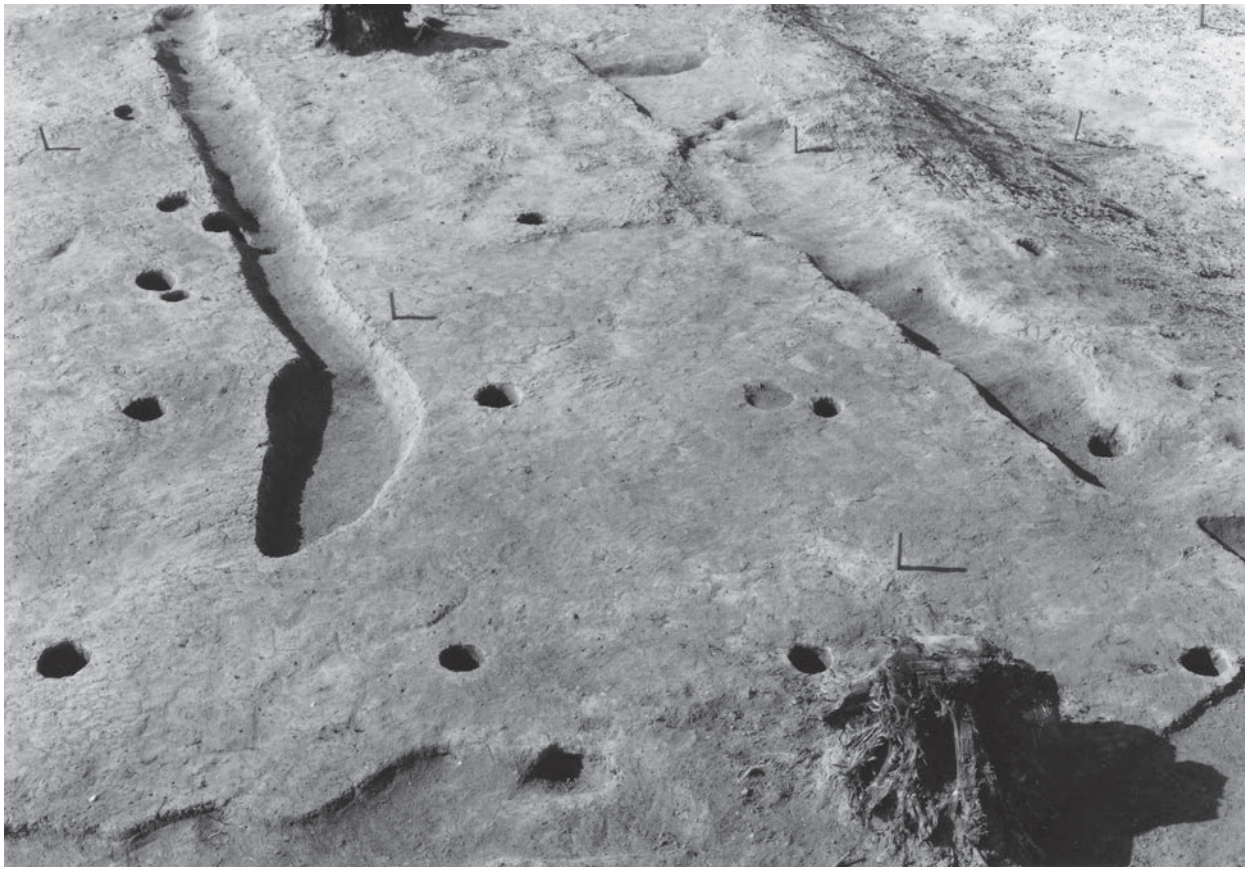
ＳＨ507・512（西から）

写真図版24　伊坂遺跡④



ＳＢ508（北から）

ＳＢ508・ＳＨ509（南東から）



ＳＢ511（北東から）

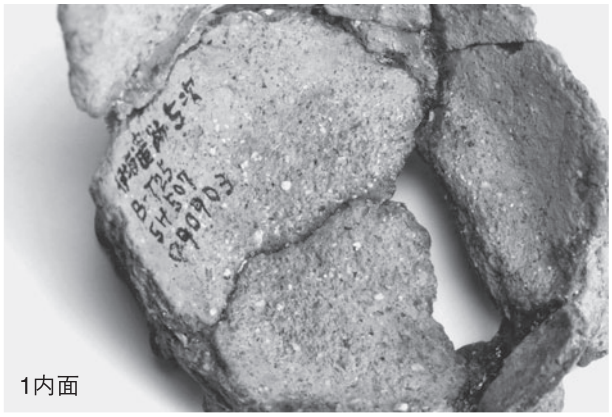
ＳＢ511（南東から）

写真図版26　伊坂遺跡⑥

ＳＫ513（南から）

調査区全景（北西から）

1


1内面

2

4

3表

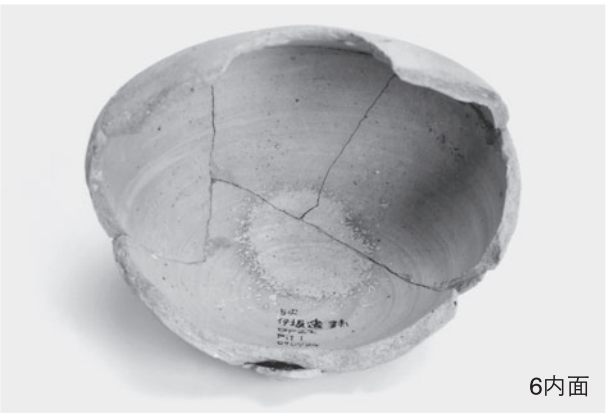
3裏

5

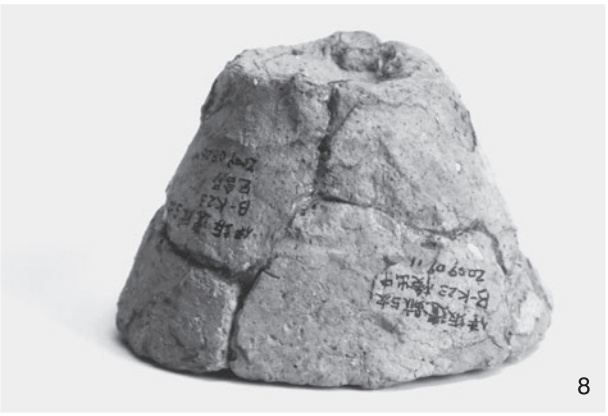
写真図版28　伊坂遺跡出土遺物②

6

7



6内面



8

報告書抄録

ふりがな	いさかかまあと・いさかいせき（だいごじ）はっくつちょうさほうこく
書名	伊坂窯跡・伊坂遺跡（第５次）発掘調査報告
副書名	
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	３２３－１
編著者名	石井智大・勝山孝文・川部浩司・櫻井拓馬
編集機関	三重県埋蔵文化財センター
所在地	〒515－0325　三重県多気郡明和町竹川503　　ＴＥＬ0596-52-1732
発行年月日	西暦2011（平成23）年３月18日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
いさかかまあと 伊坂窯跡	よっかいちしいさかちょう 四日市市伊坂町	24202	582	35° 02′ 16″	136° 37′ 42″	20081217 ～20090313	558	近畿自動車道名古屋神戸線(四日市JCT～亀山西JCT)建設事業
いさかいせき 伊坂遺跡	よっかいちしいさかちょう 四日市市伊坂町	24202	429	35° 02′ 20″	136° 37′ 41″	20090316 ～20091209	平成20年度 第１次調査 42 第５次調査 2,870	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
伊坂窯跡	生産遺跡	奈良時代	窖窯	瓦・須恵器・ 土師器・砥石	３回程度の改修あり。
伊坂遺跡	集落跡	古墳時代前期	竪穴住居	土師器・石杵	掘立柱建物は時期不詳。
		奈良時代	土坑 掘立柱建物	土師器・須恵器	

要約	【伊坂窯跡】７世紀末～８世紀中葉のものと思われる窯跡を１基検出した。地下式の窖窯で、須恵器と瓦を併焼している。焼成されていた瓦は平瓦のみであり、瓦当もみられないことから、付近に存在する寺院へ補修用の瓦を供給するための窯であった可能性が高い。
	【伊坂遺跡】古墳時代前期の竪穴住居を３棟検出した。竪穴住居からは土師器や水銀朱の付着した石杵が出土した。また、調査区中央部の土坑から奈良時代の須恵器壺と土師器甕が各１点出土した。このほか、奈良時代のものである可能性が高い掘立柱建物も２棟検出されている。

三重県埋蔵文化財調査報告323-1

伊坂窯跡・伊坂遺跡（第５次）発掘調査報告

2011年３月

編集・発行　三重県埋蔵文化財センター
印　　刷　株式会社アイブレーン